

2017年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	情報学科						
科目名	データ構造とアルゴリズム						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年次前期		
必修・選択の別	選択						
担当者	佐塚秀人						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なアルゴリズムや計算量の概念を理解している。 ・基本的データ構造、抽象データ型を理解している。 ・構造化プログラミングの意味を理解している。 						
日程と内容	<p>4/14 第1回: 導入講義: 授業の進め方と概要の説明、成績評価法を説明し、その他についての簡単な説明を行う。</p> <p>4/21 第2回: プログラミングとアルゴリズム、計算量</p> <p>4/28 第3回: データの表現・データ構造・抽象データ型</p> <p>5/12 第4回: リスト、スタック、キュー</p> <p>5/13 第5回: 木構造とクラス</p> <p>5/19 第6回: フローチャートの基礎 1 (基本図形表現と記法の基礎)</p> <p>5/26 第7回: フローチャートの基礎 2 (分岐・反復の表現)</p> <p>6/02 第8回: 前半のまとめ</p> <p>6/09 第9回: 再帰的アルゴリズム、そしていろいろなアルゴリズム</p> <p>6/16 第10回: 探索アルゴリズム (線形探索・二分探索)</p> <p>6/23 第11回: ソートアルゴリズム 1 (バブルソート)</p> <p>6/30 第12回: ソートアルゴリズム 2 (クイックソート)</p> <p>7/07 第13回: 木構造の応用 (平衡木・B木)</p> <p>7/14 第14回: 文字列照合アルゴリズム</p> <p>7/28 第15回: 後半まとめ</p>						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート	100%		プレゼンテーション			
	課題			計			100%
	演習						
授業到達目標の達成度	授業の内容については目標をほぼ達成した。合格者は授業の到達目標位の60%以上を理解できていると判断する。						
反省点	データ構造とアルゴリズム演習で実習に用いたプログラミング言語と教科書で主に用いられているプログラミング言語の間の表現力の差が大きく、演習との連携がうまくいかなかった。講義資料はMoodleを用いて公開していたが、学外からのアクセスができなくなり、学生との情報伝達手段として有効に機能しない点があった。						
来年度の計画	教科書の見直しを行い演習で用いるRuby言語を生かす形で講義を行いたい。Ruby言語では従来1から記述しなくてはいけなかった機能が基本機能として組み込まれている。今年度は、それらの機能を構成するアルゴリズムという方向で講義を行ったが、来年度はRubyの機能を利用・応用する内容をより多く講義に盛り込みたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	全体的に低評価あるし、講義の雰囲気からそれを感じとれた。前年度までのデータ構造とアルゴリズム I の内容を元に講義を構成したが、Ruby言語の採用を講義の中では生かせず、やや学生を混乱させたしまった。スライドを用いた単調になりがちな講義を、学生の反応を感じながらのリズム感のある講義が必要だと思えた。						
履修登録者数	64名	定期試験 受験者数	61名	合格者数	61名	合格率	100%